This Page Is Inserted by IFW Operations and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents will not correct images, please do not report the images to the Image Problems Mailbox.

JP-A-62-262472

OLY O 1, 2007 BE SEEN THATE 1.

. TITLE OF THE INVENTION

ELECTROSTRICTION EFFECT ELEMENT

2. WHAT IS CLAIMED IS:

An electrostriction effect element provided with a lamination where plural electrostrictive material layers and plural internal electrode layers alternately laminated so that the internal electrode layer is respectively arranged at the higher and the lower ends and a protective layer is respectively formed so that the protective layer is in contact with the internal electrode layer respectively located at the higher and lower ends, a first external electrode layer extended to the wall of one protective layer in a part in which the internal electrode layer is exposed on one side of the lamination and to which an insulating substance is applied every other layer and a second external electrode layer extended to the wall of the other protective layer in a part in which the internal electrode layer is exposex with no insulating substance applied on the other side of the lamination and to which an insulating substan is applied, further comprising:

a conductive metallic cap with which the upside and the downside of the lamination are covered so that the conductive metallic cap is respectively connected to the first and second external electrode layers on the side wall of the protective layer.

19日本国特許庁(JP)

① 特許出願公開

⑩ 公 開 特 許 公 報 (A)

昭62-262472

@Int_Cl_4

識別記号

厅内整理番号

母公開 昭和62年(1987)11月14日

H 01 L 41/08

C-7131-5F

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

図発明の名称 電歪効果素子

②特 顧 昭61-105914

②出 顋 昭61(1986)5月8日

⑫発 明 者 髙 橋 栄 奪

東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑪出 願 人 日本電気株式会社

20代 理 人 弁理士 内 原 晋

明細音

1. 発明の名称 電 歪 効 果 素 子

2. 特許請求の範囲

前記第1及び第2の外部電極層に前記保護層の 側壁面上で接続するように、それぞれ積層体の上 部および下部に冠着した導電性の金属キャップを 更に具備することを特徴とする電配効果案子。

3. 発明の詳細な説明

産業上の利用分野

東京都港区芝5丁目33番1号

本発明は電重効果案子に関し、更に辞述するならば、 凝効果を利用した 破層型の電重効果素子の 電極構造に関する。

従来の技術

振動や外力を電気的な信号に変換する電電効果 素子は、現在、音響製品あるいは圧電スイッチな ど我々の身近な様々な分野で使用されている。

このような電電効果素子は、第2図(a)の斜視図、及び(a)の断面図に示すように複数の電電材圏1と 内部電極圏2とが上下端に位置する内部電極圏2 a 及び2 b の間で交互に積層され、積層体を形成し ている。該電電材圏1は、複合ペロブスカイト構 造を有するチタン酸ジルコニウム酸鉛等のセラミックから成り、内部電極圏2は銀ーパラジウム合 金等から成る。

更に、上下端の内部電極層 2 a 及び 2 b には、電電材より成る保護圏 3 a 及び 3 b が接し配数さ

れている。

従って、電電効果素子の各内部電極層 2 には、 1 層ごとに電荷が印加されるようになされている。 通常、かかる電量効果素子は端面電極 6 a 、 6 b に該電電み効果素子の取付け部材 7 、 8 を半田付 けで接続して取り付け、取付け部材 7 、 8 膜に所

て、電電効果素子の製造コストの低減を図ると共 に、良好な効果の得られる安定構造の電電効果素 子を提供せんとするものである。

問題点を解決するための手段

定の電圧を印加すると湖面の外部電極層 5 a 、 5 b を通してすべての内部電極層 2 に電圧が印加された衆子全体が縦効果で図中矢印で示した X 、 Y 方向に歪む。

<u> 発明が解決しようとする問題点</u>

しかし、上述のような従来の電面効果素子は、 外部電極層 5 a 及び 5 b の被着工程以外に端面電極層 6 a 及び 6 b を被着する工程が必要であることから、製造コスト高となる欠点がある。

また、前記外部電極層 5 a 及び 5 b と端面電極層 6 a 及び 6 b を保護層 3 a 及び 3 b の角部で印刷により電極層を重ね合せて電気的に接続しているが、多愛に付着すると端面電極層の平面状態が悪くなり、第 2 図心に参照符号 A で示すにように取り付け部材が傾き、所望の歪効果が得られなくなるという問題もある。

また、印刷による電極層の付着量が少ないと、接続部の強度的な信頼性が低下する。

そこで、本発明は、上記のような問題を解決し

作用

以上のように電電効果然子の側壁に配設される 外部電極層が、破層体の上下端に冠若した羽電性 の金属キャップと保護層の側壁面上でそれぞれ接 続されていることで、該電電効果素子の製造時に おいて、端面電極層を配設するための製造工程が 不必要となり、製造コストの低減化が図れるばか りでなく、該電電効果素子の取り付け部材を上下 端面に安定に良好な状態で配設することができる。

事施例

次に本発明による電歪効果素子の実施例を図面 を参照して説明する。

第1図(a)は、本発明の電電効果素子の一実施例の斜視図であり、第1図(b)は第1図(a)の断面図である。

本発明による電電効果素子の実施例は、電電効果の耐層体の上部および下部に冠替させた研究性の金属キャップ 9 a 及び 9 b に外部電極層 5 a 及び 5 b の 1 端をそれぞれ接続しいてる点を除くそ

特開昭82-262472 (3)

の他の構造は、第2図に示す従来の電電効果紫子の構造と同一であるので、同一部分については同一の参照番号を付して、その説明を省略する。

かかる電歪効果素子の製作方法としては、まず、 チタン酸鉛などからなるセラミックの仮焼粉末を 準備し、少量のポリブチラール樹脂などの有機バ インダー及びフタル酸ジオクチルなどの可塑剤と 共にエチルセロソルブなどの有機溶媒中に分散さ せ、泥漿をつくる。この泥漿をドクターブレード を用いたスリップキャスティング法により厚さ 100 μmのポリエステルフィルム上に流動塗布し 厚さ70μmのグリーンシートの形に被着して電歪 材料層 1 を形成する。次に該グリーンシート上に 銀ーパラジウムペーストなどの導体ペーストをス クリーン印刷により被着し、内部電極層 2 を形成 する。その後、内部電極層2を印刷した部分のグ リーンシートを所定の大きさに切断しポリエステ ルフィルムから剝離する。このグリーンシートの 所望の枚数だけ積み重ね、熱プレスで上下から圧 着して電査材料層1と内部電極層2とが交互に配

設された設局体を形成する。また、このグリーンシートの設局工程時において、上下端の内部電極層 2 の上下面にそれぞれ20~30 枚の内部電極層の形成されていないグリーンシートを積み重ねてダミー層としての絶縁性の保護層 9 a、9 bを形成する。

次にこの経層体によりで温度1120ではによりがかって温度1120で温度

リーン印刷により、それぞれ一方の保護層 9 a または 9 b の壁面上に延長して印刷し、第 1 の外部電極層 5 a と第 2 の外部電極層 5 b を形成する。

次に該積層体の上部および下部に保護層3a、 3bの高さの約半分の深さを有する黄銅などの導電性の金属キャップ9a、9bを圧入し、該金属キャップ9aおよび9bの端部と、前記外部電極層5a、5bとを保護層3aよひ3bの壁面上で半田付け等により電気的に接続することにより完成できる。

発明の効果

以上説明したように本発明によれば、端面電極層を被着する工程が不要となり製造コストの低減化が図れる。また、電重効果楽子を取付け部材に垂直にかつ安定に取り付けることができ所望の総効果歪が得られる。更には、導電性金属キャップと外部電極層との接続の信頼性が確保され電電効果楽子の品質が大幅に向上する。

本発明による電歪効果素子の電極構造は積層方

向の断面が方形状のもののみに限らず円または多 角形の断面でも使用できる。

4. 図面の簡単な説明

第1図(a)、(b)は、本発明の電歪み効果毒子の斜 複図およびその縦方向の断面図、

第2図(a)、(b)は、従来の電面効果素子の斜視図 およびその挺方向の断面図である。

(主な参照番号)

1 · · 電歪材料層、

2・・内部電極層、

3 a 、 3 b · · 保護層 、

4 a、4 b·· 艳緑性物質、

5 a 、 5 b・・外部電極層、

6 a、6 b··端面電極層、

7、8・・取り付け部材、

ga、gb・・金属キャップ

特許出願人 日本電気株式会社 代 理 人 弁理士 内原 賢







